

【2022年度 第3回テーマ展示】

「THE KEIRIN」

＜事業完了報告書＞

自転車文化センター主催 2022年度 第3回テーマ展示「THE KEIRIN」(2022年12月14日～2023年3月31日)
貴センター「ギャラリー」および「ライブラリー」にて開催の展示制作（一式）業務を完了いたしました。

来館者数 453人



この事業は、競輪の補助を受けて実施いたしました。

<https://jka-cycle.jp>

2023年3月31日
一般財団法人 日本自転車普及協会

【ギャラリー展示制作】

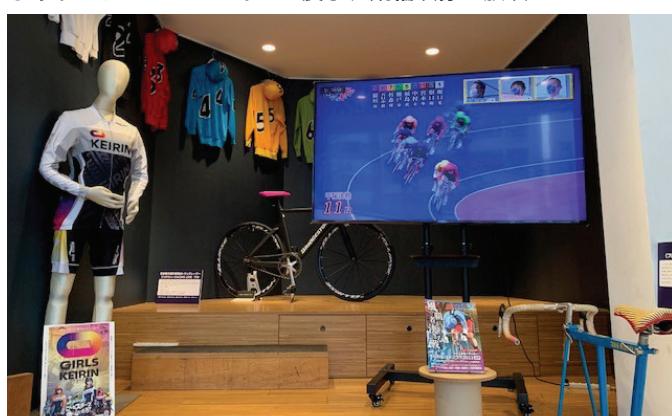
●ギャラリー・ウィンドウ



●ギャラリー・フレーム展示



●ギャラリー・ユニフォーム展示、競輪映像の放映



協力：株式会社車両スポーツ映像 SPEED チャンネル

●ギャラリー・車両展示



●ギャラリー・VR ケイリンシミュレーター体験



【ショーウィンドウ・展示制作】

●ショーウィンドウ・バナー展示



●ショーウィンドウ・車両展示



●ショーウィンドウ・パネル展示

STRATOS (ストラトス)

2005年3月21日に開催された日本選手権競輪（松戸グーピー）にて鈴木誠選手悲願の優勝を果たした実車です。このフレームには、発見までのエピソードがあります。鈴木誠選手が日本選手権優勝後も懐紙して使用していましたが、「落葉」によりトップチューブに大きな凹みが出来た事で役目を終え、サイクルワークスマラサマの倉庫で眠っていた物です。工房には、その他多数の選手のフレームが保存されている為、区別がつかなくなっていました。

鈴木誠選手のフレームには、必ず左のシートステッティップ（漢字で「鈴木誠」）のネーム彫刻が入っているのですが、このフレームを作成する時点では左側が合はず、右側と同じもので製作されています。ネーム彫刻の入っていないフレームは1台だけしかありません。このフレームを見つける為に、フレームの特徴を写真で確認しているところ、優勝時にバイク内側から撮られた写真に行き着きました。ゴール時の雪真を放大し確認したところ、左シートステッティップにネーム彫刻がなく、このフレームである事が判明しました。トップチューブは差し替えし、再塗装により当時の姿に復元されています。

●全長 1630mm ●全幅 410mm ●全高 980mm

ブレット号 (Bullet)

この自転車は、競輪創成期の1951年（昭和26年）に開催された、一宮競輪場開場1周年記念競走優勝や1952年（昭和27年）福岡競輪場で開催された第3回全国都道府県道抜競輪男子1000m競争で優勝し、「丸熊坂」の愛称で親しまれた岩坂克己選手が、引退後にフレームビルダーとして製作したフレームを使用した自転車です。ハンドルの前に愛称である「弾丸」の印のプレートと車名の「Bullet」が書かれています。この自転車は、同じ頃に活躍していた岩瀬尊雄選手が使用していたフレームを基に復元したものです。

●全長 1680mm ●全幅 380mm ●全高 890mm

【ライブラリー展示制作】

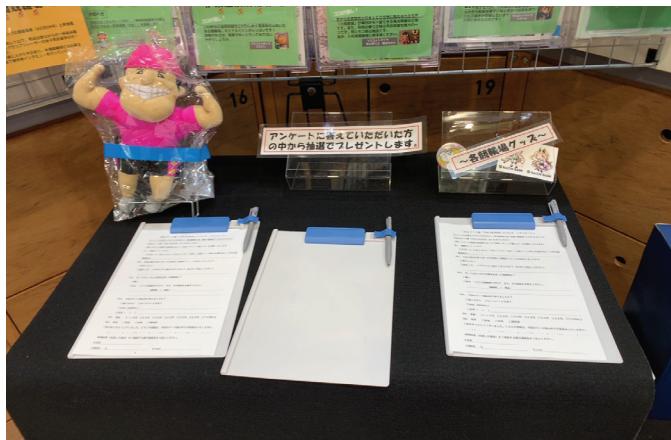
●ライブラリー・車両展示・パネル展示



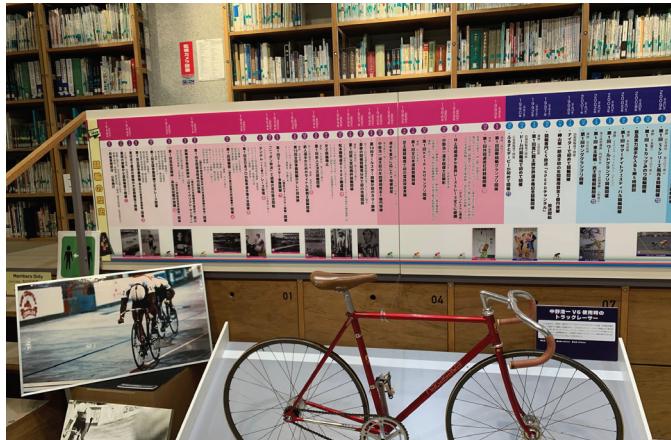
●ライブラリー・車両展示・パネル展示



●ライブラリー・アンケート



●ライブラリー・年表パネル展示



●ライブラリー・各競輪場プリペイドカード展示・パネル展示



●ライブラリー・パネル展示



●ライブラリー・全国競輪場マスコット展示



●ライブラリー・フレーム展示



【入口パネル】

●ギャラリー入口 ●サイズ：A2 サイズ



【競輪補助事業サイン】

●競輪補助事業掲示パネル

